

水道料金

12月分、1月分無料の措置が実現

水道料金値上げの対策を求めた江原議員の一般質問が早速実現



江原一雄の市議会報告

武雄市民報

日本共産党武雄市委員会
 武雄市武雄町大字武雄4092-1
 電話(23)1493
 武雄市議会議員 江原一雄
 武雄市山内町大字大野6772
 携帯090-2008464002
 生活相談はお気軽に「相談ください」

JCP 武雄 検索

スクープ連発
しんぶん 赤旗
 日刊●月 3497円
 日曜版●月 990円

12月16日、定例市議会の総務常任委員会での審議後、総務部から18日定例会最終日に、武雄市一般会計の補正予算を提出するとの報告がありました。補正予算の主なもの、水道料の12月分・1月分の2か月分を無料にするとの報告でした。

18日、12月市議会最終日、市長は、国からの重点支援地方交付金を活用した補正予算で水道料金の昨年12月分、1月分の2か月分を無料の措置をとるための1億5770万6千円が提出され、全会一致で可決しました。昨年12月定例市議会の一般質問で、江原議員が「国の重点支援地方交付金」を水道料金の値上げの対策を求めた質問が早速実現しました。

12月議会、

江原議員の一般質問から

江原議員 来年4月から2億1840万円も上がるんですよ。そして、統一料金3年後は3億3120万円今、市内約1万9000世帯です。市長、値上げじゃなくて、この値上げ分の2億円、一般財源から補助すべきじゃありませんか。今、臨時国会が開かれて、物価高騰対策は消費税の減税が一番即効薬だと私は認識しているのですが、今回、臨時国会で、補正予算の重点支援地方交付金として、水道料金の減免など、1世帯当たり1万円程度、国が補填しようという計画されている予算、御存じですか、(上の資料、NHKテレビから)

NHK テレビから

各党に問う 日中関係・経済対策

物価高への対応 **LIVE**

税率廃止 00円程度↓	「重点支援地方交付金」拡充 地域によって「配られるもの」異なる
補助 0円程度 (3月3か月間)	●LPガス使用世帯 支援 ●水道料金 減免など 1世帯あたり1万円程度↓
上乗せ	●「お米券」「電子クーポン」など 1人あたり3,000円程度

小松市長 国の物価高騰対策の臨時交付金については、水道料金の軽減とか、お米の話とか、いろいろメニューとして

で、国が想定しているメニューがある中で、その中に水道料金についても、一つ、メニューの選択肢の一つとして、来年4月からの水道料金の値上げに、市町の日本共産党地方議員団、市民の声を届けるため佐賀西部広域水道企業団に申し入れ



令和2年2月28日に3市6町1地区の水道事業を統合し佐賀西部広域水道企業団の水道事業が進められてきました。今年春、水道料金の値上げが示され、11月4日、佐賀西部広域水道企業団の臨時議会において賛成多数で大幅な水道料金が決定されています。今日、物価高騰のなか公共料金である水道料金が値上げされたら市民生活や産業にとっても大きな負担となり何となく悲鳴の声を上げています。関係自治体の首長が議員で構成されている議会で、賛成多数による強行は納得できません。下記の項目について申し入れするものです。

2025年12月19日

佐賀西部広域水道企業団
 企業長 榎高正人様

水道料金が来年4月から値上げされることについての申入れ

日本共産党佐賀市議会議員 武藤明美
 日本共産党小城市議会議員 松尾義幸
 日本共産党武雄市議会議員 江原一雄
 日本共産党埴野市議会議員 阿部愛子
 日本共産党江北町議会議員 土淵茂博
 日本共産党白石町議会議員 南里隆司

日頃、水道事業に取り組まれていることに感謝申し上げます。

令和2年2月28日に3市6町1地区の水道事業を統合し佐賀西部広域水道企業団の水道事業が進められてきました。

今年春、水道料金の値上げが示され、11月4日、佐賀西部広域水道企業団の臨時議会において賛成多数で大幅な水道料金が決定されています。今日、物価高騰のなか公共料金である水道料金が値上げされたら市民生活や産業にとっても大きな負担となり何となく悲鳴の声を上げています。

関係自治体の首長が議員で構成されている議会で、賛成多数による強行は納得できません。下記の項目について申し入れするものです。

記

- この物価高騰のなか令和8年4月値上げによる住民負担はしないでください。
- 激安緩和措置が示されています。激安緩和措置をもっと長期にしてください。
- 自治体によっては、水道料金が値上げにもなる場合があります。激安緩和措置をさらに拡充してください。
- 国、県、市町の財政負担割合の検討を強く求めます。

以上

業にとっても大きな負担となり何とかしてほしいと悲鳴の声を寄せています。関係自治体の首長が議員で構成されている

12月のNHKの日曜討論、各党の代表の政策委員長クラスの皆さんの討論で、テレビで報道されたモニターの画像です。(上の写真)水道料金減免、1世帯当たり1万円程度、武雄市内、今、1万9000世帯ですから、1億9000万円。これ、先ほど2億円の、激安緩和措置の2億円の値上げ、まさにぴったりじゃないですか。この来年、再来年の水道料金の総額約2億円、説明がありました。ぜひ、物価高騰対策の水道料値上げでなく、国の支援金、重点支援地方交付金を拡充し、値上げをストップすべきです。

議会でも、賛成多数による強行は納得できません。下記の項目について申し入れするものです。(左上の申し入れ書)

4月から2億円、3年後はさらに1億円値上げ

まちづくり部理事 武雄市民の現行料金からの年間の上がり幅について答弁をいたします。年間の上がり幅については、令和8年、9年は年間2億1840万円の増、令和10年からは年間3億3120万円増との試算となるということになります。

江原議員 2億円も上がるんですよ。

文化会館大ホール

解体やむなしなら、 中規模ホールの声さらに広がる

江原議員 6月議会で質問しましたが、12月定例会で教育長から「教育に関する報告」は、「文化会館大ホールにつきましては、改修による長寿命化の方針を改修コスト高騰の影響から廃止・解体とし、他の施設の機能強化を図る方針で変更しましたが、パブリックコメントで頂いた御意見等を踏まえ、最終的な結論を出すにはもう少し時間が必要であると判断しました。現在、利用者団体との意見交換を進めています」という説明



武雄市文化会館大ホール

でした。6月議会の時に、6名の議員から、この大ホールの問題について質問した経緯があります。市の現在の方針は、北方中央公民館を利用の方針です。この方針については、異議がはい出ています。市の中心地に、中規模ホールの必要性が高まっているわけですが、市長としてこの問題について答弁いただきたいと思

います。松尾教育長 私の教育に関する報告の中で、いろんな意見がございまして、もう少し時間をいただきたいと考えているところがございます。

小松市長 大ホールにつきまして、我々も公共施設の最適化を、将来、持続可能な市政運営を進めていかなければならない。一方で、文化振興の火をとめず、引き続き図っていくと。この2つのどちらかだけではなく、両方をパッケージとして考えていく必要があると申し上げております。もう一つは、関係者の納得を得ることが大事だと。現在、利用団体との意見交換を進めているところであると認識しております。江原議員 私は、6月議会のときも言いましたけども、

それは、この「文化」というのは、人間生活の様式全てに関わるものです。暮らしの問題、文化の問題、音楽の問題、宗教の問題、政治の問題、人間生活のあらゆるものを総称して文化。その文化のホールは、やはり、私は必要だと。文化とは、あらゆるものの複合体、総称ですから、それを踏まえ、市民の願う中心部に、市民が憩える、文化の香りがする様々な文化行事が中心部で行われる中規模ホールの建設を進めるべきだと思います。

太平商会は

3807万円返すべき

江原議員 令和2年、令和3年に起こったふるさと納税委託会社の太平商会が約2万6000件の返礼品、2万2144名の方々に對して、この返礼品を、お米や牛肉等、返礼品を返されなかつたという大問題が起こつたわけなんです。太平商会には、契約金、令和3年8月末日までに約1億5000万支払っています。そのうち、契約違反だと示されたのが3807万8802円です。9月議会のときは、太平商会は存続していると答弁されております。どうなっているか答弁ください。

企画部長 控訴審の判決確定後、すぐに太平商会に対し、損害賠償金等を請求しております。

江原議員 これ、支払えなかつたら、引き続きこの問題、太平商会に求めていくと同時に、市の対応を問いていきたいと思ひます。

新幹線問題

フル規格はいらない

江原議員 私は、このフル規格の推進事業の問題については中止すべき、ストップすべきだと訴えたいと思ひます。リレーかもめが開業して、3年が経過をいたしました。長崎ルート開業に要した建設費は、概算版で約6200億円です。武雄市としての負担は、7億8100万円にもなります。このリレーかもめ、対面方式のままでもいいです。これ以上の負担、フル規格は要らないと思ひます。今日の経済情勢の下、そして、人口減少だということの中で、もうこのままでもいいと、武雄に全



新幹線リレーカモメ

て新幹線列車が止まっています。フル規格になつたら、どうなるでしょう。武雄のこの駅舎、50億円かかつたわけなんです。ですから、もうフル規格推進はストップすべきだと思います。

ますが、市長、いかがですか。小松市長 フル規格については、人口減少が進む地域がこれからどう持続的に発展をしていくかと考えたときに、やはり交流人口の増というの大事なこと。やドだと思ひついで、やはり関西としっかりつないで、西への大きな人の流れをつくっていく。そのためには、フル規格は必要であると思ひます。

国道35号線S字カーブ新設道路から

650m歩道設置を

江原議員 昨年、12月10日、国道35号線山内町踊瀬地区のS字カーブの改修工事が終わりました。(写真左上)武雄から山内町に向かつて、下山入口の信号機のところ。歩道が650メートルS字カーブの改良工事に入っていない。改めて、国土交通省、佐賀国道工事事務所に要望活動進めていかなければならないと気づかされました。この650メートルの歩道完備のため

に要望したいと思ひます。まちづくり部長 踊瀬地区改良工事の地点から下山交差点までの区間につきましては、現時点での歩道整備の計画はな



国道35号線S字カーブ新設道路



武雄町下山交差点

御答弁ください。小松市長 先ほど部長が答弁したとおりでございます。国に對して要望を行つてまいります。